

「人財」でお困りなら

株式会社
ミヨシ・ロジスティックス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

電子制作：株式会社クライムエヌシーデー

KANAKEI

かながわ経済新聞®

税務・会計・経営支援

会社成長の専門家
りんくグループ

042-730-7891
www.link-tax.com

きょうどいい
りんく

2019年9月号 Vol.069

かながわ経済新聞 2019.9月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

人財の活用⑨

「ワークライフバランス」についてお話しします。今回のテーマは「ワークライフバランスが実現した社会の姿」についてです。

国(内閣府)はその姿について「一人一人がやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などでも、子育て期や中高年期といった『人生の各段階』に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会である」と定義しています。

具体的に目指すこととして、まず「就労による経済的自立が可能な社会」を挙げています。

例えば▽経済的自立を必要とする者、中でも若者が生き生きと働くことができる▽経済的に自立可能な働き方ができる▽結婚や子育てに関する希望の実現などに向けて、暮



**吉田英訓の
着眼大局 着手小局**
～人と企業～

引き継ぎ「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」についてお話しします。今回のテーマは「ワークライフバランスが実現した社会の姿」についてです。

さらに「多様な働き方・生き方が選べる社会」も目指すべきだとしています。性や年齢などにかかわらず、誰もが意欲と能力を持ってさまざまな働き方・生き方に挑戦できる機会が提供されていることです。

このように国はワークライフバランスについて、ある意味での指針を明確にしていますが、私たち中小企業は、このうちの

どれか一つでも実践できるのではないのでしょうか？ 今回は「関係者が果たすべき役割」についてお話しします。
(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役/南西フォーラム委員長)

らしの経済的基盤が確保できる一などです。「健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会」も訴えています。健康のみならず、家族や友人との充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などを